

2020年10月度 高島屋営業報告

〔売上高 総計〕

㈱高島屋 計 ^{※1}	+2.4	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社 計	+2.6
㈱高島屋 既存店計 ^{※2}	+3.6	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社 既存店計 ^{※3}	+4.2

〔店舗・事業部別 概況〕

	売上高	入店客数		売上高	入店客数
大 阪 店	△12.6	△28.3	柏 店 ^{※4}	+4.9	△3.8
堺 店	△3.1	△4.8	㈱高島屋 各店 計	+0.7	△18.2
京 都 店 ^{※4}	+1.3	△17.3	㈱高島屋 各店 既存店計 ^{※2}	+1.9	△16.4
泉 北 店	△1.6	△1.9	岡 山 高 島 屋 ^{※4}	+13.0	△16.0
日 本 橋 店	+17.3	△19.0	岐 阜 高 島 屋	+10.1	△6.9
横 浜 店 ^{※5}	+5.1	△21.7	高 崎 高 島 屋	+18.3	△2.3
新 宿 店	△2.0	△26.9	㈱高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 計	+1.0	△18.1
玉 川 店	+20.4	+0.9	㈱高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 既存店計 ^{※3}	+2.7	△16.0
立 川 店	+11.8	+8.7	法 人 事 業	+25.5	
大 宮 店	+1.5	△10.8	ク ロ ス メ デ ィ ア 事 業	+23.8	

※1. ㈱高島屋の売上高は、㈱高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。

※2. 2020年8月に営業終了した港南台店の前年実績を控除しています。

※3. 2020年3月に全株式を譲渡した米子高島屋および2020年8月に営業終了した港南台店の前年実績を控除しています。

※4. 京都店の売上高は「洛西店」、柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、岡山高島屋の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

※5. 横浜店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」を含みます。

横浜店の前年比は2020年2月に営業を終了した「タカシマヤ スタイルメゾン」の売上を含む前年実績との対比です。

〔商品別売上高〕

	㈱高島屋	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社		㈱高島屋	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社		㈱高島屋	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社
衣料品	△2.3	△2.6	食料品	△3.7	△4.2	サービス	+2.8	+1.2
紳士服・洋品	△1.7	△1.7	生鮮食品	△4.6	△5.0	その他	+5.9	+6.0
婦人服・洋品	△3.9	△4.2	菓 子	△6.6	△6.3			
子供服・洋品	△0.3	△0.7	惣 菜	+0.6	+0.1	合 計	+2.4	+2.6
その他衣料品	+7.3	+7.2	そ の 他	△5.2	△6.1			
身のまわり品	+11.1	+13.8	食 堂 ・ 喫 茶	△17.6	△18.0			
家庭用品	+36.3	+35.5	雑 貨	+5.0	+5.4			
家 具	+36.3	+35.2	化 粧 品	△24.4	△22.6			
家 電	+95.2	+95.7	美 術 ・ 宝 飾 品 ・ 貴 金 属	+62.3	+62.2			
その他家庭用品	+28.0	+27.8	そ の 他	+17.4	+17.7			

○百貨店は、外出を控える動きは引き続き継続していますが、昨年は消費増税の駆け込み需要の反動などがあったため、

13カ月ぶりに前年を上回りました。免税売上は前年比△92.7%、免税を除いた店頭売上は同+9.4%となりました。

なお、対前々年比では店頭売上は△18.7%（既存店計△17.4%）、免税を除いた店頭売上は△12.2%（既存店計△10.6%）でした。

○店舗別では、大型店は京都店、日本橋店、横浜店が前年を上回りました。なお、大阪店と新宿店は免税売上のマイナス影響が大きく、前年を下回りました。

○法人事業は前年の消費増税影響の反動により、クロスメディア事業は食料品などの伸長により、前年比プラスとなりました。

○11月度の店頭売上は、15日までの累計が前年比△11.9%（前々年比△15.4%）、免税売上は前年比△90.0%、

免税を除いた店頭売上は前年比△6.9%（前々年比△9.7%）で推移しています。

以 上